

日出町告示第114号

令和4年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

令和4年11月24日

日出町長 本田 博文

1 期 日 令和4年12月1日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

多田 利浩君	阿部 峰子君
河野 美華君	岡山 栄蔵君
豊岡 健太君	安部 徹也君
衛藤 清隆君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
池田 淳子君	森 昭人君
熊谷 健作君	工藤 健次君

○12月5日に応招した議員

○12月6日に応招した議員

○12月7日に応招した議員

○12月20日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

令和4年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

令和4年12月1日(木曜日)

議事日程(第1号)

令和4年12月1日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第45号 令和4年度日出町一般会計補正予算(第5号)について

日程第7 議案第46号 令和4年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第8 議案第47号 令和4年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第9 議案第48号 令和4年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第10 議案第49号 令和4年度日出町下水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第11 議案第50号 日出町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について

日程第12 議案第51号 日出町太陽光発電設備等と地域環境との調和に関する条例の制定について

日程第13 議案第52号 日出町職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第14 議案第53号 日出町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第54号 職員の定年等に関する条例等の一部改正について

日程第16 議案第55号 日出町議会議員及び日出町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

日程第17 議案第56号 町道の認定について

日程第18 報告第8号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

提案理由の説明

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第45号 令和4年度日出町一般会計補正予算（第5号）について

日程第7 議案第46号 令和4年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第8 議案第47号 令和4年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第9 議案第48号 令和4年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）について

日程第10 議案第49号 令和4年度日出町下水道事業会計補正予算（第1号）について

日程第11 議案第50号 日出町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について

日程第12 議案第51号 日出町太陽光発電設備等と地域環境との調和に関する条例の制定について

日程第13 議案第52号 日出町職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第14 議案第53号 日出町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第54号 職員の定年等に関する条例等の一部改正について

日程第16 議案第55号 日出町議会議員及び日出町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

日程第17 議案第56号 町道の認定について

日程第18 報告第8号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

提案理由の説明

散会の宣告

出席議員（15名）

1番 多田 利浩君

2番 阿部 峰子君

3番 河野 美華君

4番 岡山 栄蔵君

5番	豊岡	健太君	6番	安部	徹也君
7番	衛藤	清隆君	8番	阿部	真二君
9番	上野	満君	10番	金元	正生君
11番	川西	求一君	12番	岩尾	幸六君
14番	森	昭人君	15番	熊谷	健作君
16番	工藤	健次君			

欠席議員（1名）

13番 池田 淳子君

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 河野 匡位君 次長 河野 裕治君

説明のため出席した者の職氏名

町長	………	本田 博文君	副町長	………	一丸 淳司君
教育長	………	恒川 英志君	会計管理者兼会計課長	…	佐藤小百合君
総務課長	………	帯刀 志朗君	財政課長	………	白水 順一君
政策企画課長	………	梶原 新三君	まちづくり推進課長	…	藤本 周司君
税務課長	………	河野 英樹君	住民生活課長	………	伊豆田政克君
介護福祉課長	………	山口 佳子君	子育て支援課長	………	安田 恵君
健康増進課長	………	木付 達朗君	農林水産課長	………	河野 一利君
都市建設課長	………	須藤 淳司君	上下水道課長	………	阿南 次郎君
教育総務課長兼学校給食センター所長	…	古屋秀一郎君	学校教育課長	………	稗田 健治君
社会教育課長兼町立図書館長	…	後藤 良彦君	代表監査委員	………	井上 哲治君
監査事務局長	………	工藤 明美君	農業委員会事務局次長	…	土居 浩二君
総務課課長補佐	………	赤野 公彦君	財政課課長補佐	………	間部 大君

午前10時00分開会

○議長（工藤 健次君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（工藤 健次君） ただいまの出席議員は15名です。定足数に達していますので、令和4年第4回日町議会定例会を開会いたします。

今期定例会に提案されています議案は、議案12件、報告1件であります。議員各位におかれましては、慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（工藤 健次君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、5番、豊岡健太君、11番、川西求一君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（工藤 健次君） 日程第2、会期の決定について議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、11月24日の議会運営委員会におきまして、本日から12月20日までの20日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は本日から12月20日までの20日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（工藤 健次君） 日程第3、諸般の報告を行います。

まず、去る11月9日、東京のNHKホールで開催された第66回町村議会議長全国大会に、私が出席できませんでしたので、代わりに川西副議長が県内の町村議長とともに出席いたしましたので、その概要を報告いたします。

細田衆議院議長ほか、多くの国会議員をお招きし、約1,700人の町村議会関係者出席の下、第66回町村議会議長全国大会が開催されました。

全国町村議会議長会会長の南雲正氏から、「国際情勢の緊迫化による原油高、原材料高と急激な円安による物価高騰は、地域経済に大きな影響を及ぼしており、町村においても現下のエネルギー高、物価高騰は大変深刻な問題であります。町村の経済に対して、引き続き強力な御支援が

必要である」と、強く訴えられました。

議事は、初めに、新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策等に関する特別要望など地区要望9件を含む要望36件を満場一致で決定し、また、緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある3つの案件については特別決議を行うこととし、地方議会の位置づけを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現を求める特別決議、新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策等に関する特別決議、東日本大震災等の大規模災害からの復興及び災害対策に関する特別決議が満場一致で決定しました。

大会終了後、ニュース番組等にも多く出演されている外交政策研究所の宮家邦彦氏による「最新の国際情勢と日本経済に与える影響」というテーマで特別講演が行われ、充実した大会でありました。

続きまして、去る11月17日に開催された議員研修会について報告いたします。

大分県町村議会議長会主催で、県下3町1村の議員が一堂に会して開催された研修会では、講師に明治大学政治経済学部地域行政学科長、教授の牛山久仁彦氏をお招きし、「人口減少時代における町村議会の課題と展望～議会の機能と政策形成能力の向上に向けて～」と題して講演をいただきました。

講演では、町村だからこそ地域の実情に即した議会の在り方を、住民との合意形成の中で示すことができ、委員会活動の活性化を通じて、改めて住民との関係をどう構築し、議会の政策能力をどう評価するかという、議会改革の視点の確認が大切になっていくという内容であり、今後の議会活動に大いに参考となる研修でありました。

次に、令和4年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、安部徹也君に報告をお願いします。6番、安部徹也君。安部徹也君。

○議員（6番 安部 徹也君） 皆さん、おはようございます。

それでは、令和4年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告をいたします。

去る、11月11日に別府市議会議場で開催されました令和4年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を報告いたします。

今期、上程されたました議案は、令和4年度補正予算2件、令和3年度決算認定1件の全3件でした。

まず、議第11号令和4年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出ともに296万7千円を追加し、補正後の予算額を11億5,055万1千円とするものです。

主な内容は秋草葬斎場事業への繰出金等の調整であります。各常任委員会の審査を経て、全員異議なく原案のとおり可決されました。

次に、議第12号令和4年度秋草葬斎場事業特別会計補正予算（第1号）について、歳入歳出ともに502万9千円を増額し、補正後の予算額を1億5,607万8千円とするものです。

物価高騰による光熱水費並びに燃料費の追加、また、新型コロナウイルス感染症対策として人件費を追加計上、さらに令和3年度公債費の利率確定による追加であります。所管の委員会審査を経て、全員異議なく原案のとおり可決されました。

次に、議第13号別枠速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、その内容につきまして一般会計は予算現額11億9,565万2千円に対し、歳入歳出決算額はともに11億8,536万2,525円であります。

秋草葬斎場事業特別会計は、予算現額5億2,780万2,800円に対し、歳入歳出決算額はともに5億2,702万8,878円、歳出決算額は5億2,901万4,621円であります。

藤ヶ谷清掃センター事業特別会計は、予算現額12億2,452万2千円に対し、歳入歳出決算額はともに12億1,808万3,884円であります。

介護認定審査会事業特別会計は、予算現額2,435万4千円に対し、歳入歳出決算額はともに2,207万9,169円あります。

また、各会計については、翌年度に繰り越す財源はなく実質収支額はゼロ円です。各常任委員会で各会計決算の関係部分の審査を経て、採決の結果、全員異議なく原案のとおり認定されました。

以上、令和4年第2回別枠速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告といたします。

○議長（工藤 健次君） 次に、令和4年第2回枠築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合副議長、金元正生君に報告をお願いします。10番、金元正生君。金元正生君。

○議員（10番 金元 正生君） 令和4年第2回枠築速見環境浄化組合議会定例会が、去る11月22日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程された案件は、議案6件、認定1件であります。

初めに、議案第6号令和4年度枠築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正する額は、規定の予算総額に歳入歳出それぞれ581万5千円を追加し、補正後の予算総額を2億8,502万7千円とするものです。

歳出予算の主なものは、衛生費の清掃施設費のうち高騰する電気料の光熱水費に551万4千円増額しております。

また、歳入予算については、全額、財政調整基金繰入金にて財源調整しております。

以上、補正予算に関する議案1件につきましては、慎重審議の結果、全会一致で可決であります。

次に、議案第7号杵築速見環境浄化組合職員の定数条例の一部改正について、運転管理業務の民間委託により職員の職の設置に関する規則を廃止し、新たに条例を整備したことに伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第8号職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正については、地方公務員法の一部改正に伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第9号職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正については、既存例規の見直しにより所要の改正を行うものであります。

次に、議案第10号杵築速見環境浄化組合職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正については、一般職の職員の勤務時間・休暇等に関する法律の改正等に伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第11号杵築速見環境浄化組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正については、非常勤職員についての育児休業等の取得要件の緩和及び職員が育児休業等を取得しやすい環境を整備するために所要の改正を行うものであります。

以上、条例議案5件につきましても、慎重審議の結果、全会一致で可決であります。

次に、認定第1号令和3年度杵築速見環境浄化組合会計歳入歳出決算の認定についてであります。

歳入決算額は2億7,120万4,018円に對しまして、歳出決算となる金額は2億6,496万5,227円でありました。差額となる実質収支額は623万8,791円の黒字となっており、全額を財政調整基金に積み立てることとしております。なお、歳入の92.3%を占める市町負担金について、負担割合は日出町が36.1%、杵築市が63.9%となっております。

そのほか、基金については、決算年度末現在高で施設整備基金積立金が4,429万4,573円、財政調整基金積立金が1,474万6,400円となっており、公有財産である土地、建物及び物品については、変更がないとの報告がございました。

なお、決算に当たり監査委員より予算執行及び決算管理ともに、適切に処理されている旨の決算審査報告がございました。

令和3年度決算につきましても、慎重審議の結果、全会一致で認定であります。

報告は、以上でございます。

○議長（工藤 健次君） 以上で諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（工藤 健次君） 日程第4、行政報告を行います。

町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 皆さん、おはようございます。本日、令和4年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多用のところ、御出席を賜り御審議をいただきますことに対しまして厚く御礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、日出町公式インスタグラムフォトコンテスト2022についてであります。

本町の魅力を広く画像で発信し、タウンプロモーションを推進すること及び情報発信の強化を図ることを目的に、SNSを活用した初めての取組であります。

募集テーマを「日出町の夏・ベストショット」と題し、最終的に229作品の応募がありました。その中から、1次審査、2次審査を実施し、最終的に10作品が入選されました。入選作品については、広報誌をはじめ、町ホームページやSNSを通じて公表し、町内外に町の魅力を発信することができたところであります。

次に、第75回大分県民スポーツ大会についてであります。

令和元年度の前回大会から、3年ぶりに開催された第75回大分県民スポーツ大会は、9月10日から11日を主日程として、久大ブロックを中心に県内各地で各種競技が行われました。

日出町選手団は、24競技に362名で大会に臨みました。選手の皆さんは、日頃の練習の成果を存分に発揮して優秀な成績を収められ、結果として総合順位を前回から1つ上げて10位となり、B部への昇格を果たしました。

選手や監督の皆さんの御健闘を称えるとともに、関係者の皆さんの御支援に感謝を申し上げます。

次に、ザビエルの道ウォーキング大会についてであります。

今回は、15回記念大会として石丸謙二郎氏をお迎えし、10月16日、390名参加の下、3年ぶりに開催いたしました。

参加者の皆様には、15キロ、10キロ、5キロの3コースそれぞれにおいて、別府湾や鹿鳴越連山などすばらしい自然景観を堪能して、日出町の文化や歴史を感じていただきました。

実行委員をはじめ御協賛、御協力いただいた皆様に感謝申し上げ、今後も参加者に喜んでいただけるような大会になるよう努めてまいります。

次に、2022ひじ産業文化まつりについてであります。

令和2年以降、コロナ禍によって中止を余儀なくされてきましたが、今年は安全安心なお祭りにするために規模の縮小や密を避けるための入場者数の管理など、新型コロナ感染対策をしっかりと実施し、3年ぶりに10月29日、30日の2日間、日出中央公民館を主会場として開催いたしました。

屋外会場では、有機野菜をはじめとする新鮮な町内農産物や海産物の販売やフードコーナーなど、多くの出店をいただきました。

中央公民館ホールにおいては、産業・文化振興に功績のあった個人6名と、子ども芸術文化奨励賞では1名の小学生を表彰いたしました。

イベント初日は、ハーモニーランドキャラクターショーや別府市出身のピアニスト樽谷公平氏をお招きしての滝廉太郎記念音楽会、2日目は、おさかな芸人ハットリ氏の「笑って学べる！魚のお笑いライブ」や文化芸能発表会、日出中学校吹奏楽部によるミニコンサートなどを開催いたしました。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

11月3日、川西町議会副議長をはじめ多くの御来賓の御出席をいただき、日出町役場において日出町功労者表彰式を執り行いました。

今年は、地方自治、地域医療、社会福祉、教育、文化振興の部門で町の発展に御尽力された個人8名を表彰し、記念品をお贈りいたしました。

各分野において長年御活躍され、町政の推進に御貢献いただいた方々の御功績を称え、敬意と感謝の意を表しました。受賞された方々には、今後とも日出町の発展のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

次に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

11月15日、日出中央公民館におきまして、第17回日出町福祉健康推進大会を関係者約50名の出席をいただき、開催いたしました。

ダイヤモンド婚や金婚を迎えられた御夫妻をお祝いするとともに、様々な分野において献身的な活動をされ、地域福祉の向上、健康づくりの実践などに御尽力いただいている方々に感謝の意を表することを目的として、日出町と日出町社会福祉協議会、老人クラブ連合会の共催で開催いたしました。

今年の大会は、コロナウイルス感染症予防の観点から、ダイヤモンド婚と金婚表彰の方については、お招きできませんでしたが、明るい子育て大賞、福祉功労賞、明るい高年賞、老人クラブ指導者功労賞、長寿健康賞、健康づくり功労賞などの表彰を行い、最後に、「子どもから高齢者まで、だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じ安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けて一層邁進する」との大会宣言が採択されました。

受賞された方々の益々の御健康、御活躍を祈念申し上げます。

最後に、日本山岳遺産の認定についてであります。

11月8日、鹿鳴越連山が日本山岳遺産基金から、日本山岳遺産に認定されました。

ひじ町ツーリズム協会が、ひじの里山を愛するガイドの会などと取り組んでいる登山道整備及

び次世代育成のための学習活動といった業績などを基に申請していたもので、九州では6か所目、県内では初めての認定となります。

今後は、町としてもルートの維持管理と大友時代の歴史的遺産である古城遺跡を活用しながら、観光面、教育面がより一層充実するよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上、甚だ簡単ではございますが、行政報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） これで行政報告は終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので報告いたします。

日程第5. 委員長報告

○議長（工藤 健次君） 日程第5、委員長報告を行います。

令和4年第3回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務産業常任委員会副委員長 岡山栄蔵君。岡山栄蔵君。

○総務産業常任副委員長（岡山 栄蔵君） 閉会中の総務産業常任委員会の報告をいたします。

当委員会は、11月4日に日出町消防団との意見交換会を、11月14日に現地調査と所管各課の事務調査を行いましたので、それぞれの内容を報告いたします。

まず、日出町消防団との意見交換会は、日出町役場大会議室において団長をはじめ副団長、分団長など、約20名の団員の方に出席をいただき開催いたしました。団員の方からは、様々な要望と忌憚のない意見を出していただきました。

まず、積載車にエアコンをつけてほしいというものでした。これは、もともとついていたものを、当時はエアコンがぜいたくだったせいか、わざわざ外した経緯があるそうです。夏の暑さ対策だけではなく、雨降りなどのフロントガラスが曇って前が見えず、運転手の人が常に窓を拭いていなくてはいけないそうです。

またホースや積載車を洗うための機庫に水道を設置してほしい、さらには部の運営費に関することや団員の増員に関する事など、切実な意見が出されました。

女性部からは、新たな部員がなかなか入らず、増員に苦慮しているとのことでした。

由布市は、全員が市の職員とのことで、日出町も女性職員の方に入団してもらいたいとのことでした。

ここで報告した内容は、ほんの一部ですが、頂いた要望は委員会で取りまとめ、担当課に提出したいと思います。

続きまして、糸ヶ浜パークゴルフ場と回天記念公園の現地調査についてです。

糸ヶ浜パークゴルフ場は、平成29年8月にオープンし、昨年度は、日本パークゴルフ協会認

定コースに申請し承認されました。芝生の維持管理に極力予算をかけないよう工夫を凝らしながら、集客に注力してこられた関係者の努力がうかがえます。

パークゴルフは、老若男女問わず気軽に楽しめるコミュニティスポーツであること、また、芝生の上を歩くことで足腰の負担も軽減され、健康増進につながることを期待されます。

今回の現地調査において、芝生の状態の確認も含め、18ホールあるコースのうち半分に当たる9ホールでプレーを体験いたしました。芝生の状態はとてもよく、町内外、多くの方に楽しんでもらいたいと感じたところでもあります。

現地視察2か所目の回天記念公園では、清掃委託業務を受けてくださっている方から意見をお聞きいたしました。

最近では、修学旅行の児童生徒が増えており、大型バスの駐車スペースが不足しているとのことでした。

また、夜間と思われる時間帯のトイレの利用の仕方がよくないケースが目立つということで、トイレの入り口を監視できるよう、防犯カメラを設置してほしいとの要望がありました。

公園を安全に利用できるよう、担当課に要望として確認しておきたいと思います。

次に、所管各課の事務調査について報告をいたします。

まず、総務課からは、9月30日に川崎小学校にて、大分県選挙管理委員会と日出町選挙管理委員会の職員が講師となり、6年生を対象に選挙出前講座を開催したとの報告がありました。

当日は、実際に記帳台や投票箱を使用して、模擬投票と開票作業も行ったとのこと。こうした主権者教育が、将来の投票行動につながるものと期待するところです。

また、日出町豊岡ジュニア消防団についての報告ですが、令和2年11月8日の結成以来、地域や地元消防団と連携をしながら火災予防啓発を行っており、団員も6名から13名に増えたそうです。現在の活躍に期待するとともに、将来は日出町消防団でも大いに活躍したいと願っています。

また、先ほどの報告の中でも申し上げましたが、委員から消防団の積載車にエアコン設置を早急に行うよう意見が出されました。

次に、財政課からは、令和5年度の当初予算編成についての報告として、予算編成スケジュール、予算編成の基本方針、予算編成手法についてそれぞれ説明がありました。

予算編成の方針は、第5次日出町総合計画基本計画の達成に向けた事業の推進、子育て世代に選ばれるまちづくりのための新たな子ども政策の推進、DXによる住民サービスの向上と事務効率化の一体的な推進など、8つの項目からなります。

12月2日に各課予算要求を締め切り、12月13日から1月13日まで1次のヒアリングを行い、1次の町長査定を経て2次のヒアリング、そして、1月末には、最終の町長査定後、予算

決定となる予定とのことでした。

委員から、子育て世帯に選ばれるまちづくりとあるが、給食費を無償にする考えはないかとの質問がありましたが、今のところは難しいとの回答でした。

次に、政策企画課から事務事業評価の実施についての説明がありました。

総合計画後期基本計画に設定されている目標指標の進捗状況を確認するため、担当課にて自己点検及び評価を実施し、その後、事業の必要性や有効性などを判断するとともに、目標達成に向けた進捗管理と今後の取組について、2次ヒアリングを行ったとのことでした。

評価対象事業は、令和3年度実施事業と令和4年開始事業113事業と、令和5年度実施予定の新規拡充事業48事業、計161事業です。

業務最適化計画の中では、効率化を図るため、必ずしも正規職員が従事する必要のない定型業務は、専門職を除く既存の会計年度職員を事務センターに集約し、事務センターに業務移管を行う予定があるとの説明がありました。

次に、まちづくり推進課からは、ふるさと寄附金の推移が昨年度より増加傾向にあることから、12月議会での補正を予定しているとの報告がありました。

また、ひじ町ツーリズム協会事業では、大分県観光産業リバイバル事業として、裏門櫓を改装しワーキングスペース「yagura」として、11月1日から貸出しを行っており、毎日利用する人がいるほど好評とのことでした。

税務課からは、税務手続のデジタル化、キャッシュレス化による利便性向上を図るため、eL TAX（エルタックス）を通じた電子申告、申請の対象手続や電子納付の対象税目・納付手段が拡大される旨の説明がありました。

農林水産課からは、ひじ産業文化まつりの実施結果について報告がありました。

コロナ感染防止対策として、規模縮小、密を避け、入場者の管理を行った上での開催で、来場者数は延べ7,800人でした。3年ぶりに開催され、出展ブースやイベント関連行事も、とてもにぎわいました。

そのほか、9月18日に発生した台風14号による農林水産業災害状況について、全国豊かな海づくり大会についての報告がありました。

次に、都市建設課です。

現地視察を行う糸ヶ浜パークゴルフ場について説明を受けた後、青津山住宅の用途廃止に伴う住居移転に関する説明会について報告がありました。前回の説明会での質問に対して資料を渡して説明を行い、今回の説明会での質問、要望にも回答を行ったとのことでした。

上下水道課からは、台風14号による浄水場や浄化センターの被害状況についての報告がありました。

被害状況は、主に停電によるもので、水道施設は発電機を準備する前に復電したケースや手動制御を行ったことにより、住戸への影響はありませんでした。

下水道施設は、自家発電稼働や発電機設置により、大きな混乱はなかったようです。

次に、会計課からは、支払資金の不足もなく経過しているとの報告でした。

監査委員事務局からは、監査実施状況について順調に行っているとの報告がありました。

最後に、農業委員会からは、9月から10月までの農地転用の件数と面積について報告がありました。

また、前回の委員会において、空き家・空き地バンクに付随する農地は、家を借りても取得できるのかとの質問に対しての回答は、空き家・空き地バンクは、移住者に対して情報を公開しているのみで、売買か貸借かは制限していないので、農業委員会としても空き家・空き地バンクに登録された農地であれば、家は借りても農地は売買で取得できるとのことでした。

以上、閉会中の総務産業常任委員会の報告といたします。

○議長（工藤 健次君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 安部徹也君。安部徹也君。

○福祉文教常任委員長（安部 徹也君） 改めまして、おはようございます。

福祉文教常任委員会は、閉会中に行政視察研修、所管各課の事務調査、現地視察、令和4年第2回定例会における委員会付託の議案の審査並びに老人クラブとの意見交換会を実施いたしましたので、その御報告を申し上げます。

まず、当委員会は10月25日から27日にかけて、茨城県及び東京都で行政視察研修を行ってまいりました。

10月25日は、子育て支援拡充策を目的に茨城県境町を訪れました。

境町は、2022年に一般社団法人日本子育て支援協会が実施する日本子育て支援大賞を受賞しており、子育て支援に非常に力を入れている自治体です。

具体的な施策としまして、1つ目に同時期に第1第2子が小中学校に在籍している場合に限り給食費が半額、第3子以降は無料、2つ目に乳幼児医療費助成制度の対象年齢を20歳まで拡充し、20歳まで医療費の補助が受けられる、3つ目に第3子の出産を奨励し、出産奨励金として総額50万円を3回に分けて支給、そして4つ目に認定こども園、保育園等の給食費を完全に無償化するなど、そのほかにも実に様々な子育て支援策を実施しているというお話がありました。

また、子供の英語教育にも力を入れており、町内全小中学校で先進英語教育を無料で提供したり、英検の受験料を全額補助したり、海外の友好都市に子供たちを派遣したりしているということでした。

このような英語教育の充実で、境町では小学校卒業時には英検3級、中学校卒業時には英検2級レベルの話せる英語を身につけることを目標にしているという話がありました。

続きまして10月26日には、茨城県守谷市にて学校教育に関する研修を受けました。

守谷市は、守谷型カリキュラムマネジメントなどを柱とした、独自の学校教育改革プランで大きな成功を収め、文部科学大臣をはじめとして、国内外の多くの自治体が視察を行う学校教育の先進地です。

研修では、平成31年から実施している学校教育改革プランを第1次、第2次、第3次という段階に分けて、時系列で説明を受けました。

この独自の学校教育改革プランで、守谷市は教員の負担を減らすと同時に、児童生徒の学力向上や部活動の成果向上という、一般的には相反する成果の実現に成功しています。その成功の秘訣を包み隠すことなく御指導いただき、我々にとっては非常に役に立つ研修となりました。

そして、最終日は内閣府の小倉内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画）と面談し、子育て支援に関する要望を行ってまいりました。

現状、子育て支援は地方独自に取り組むにも限界があり、国の後押しがなければ、満足な子育て支援を実現することができません。その窮状を訴え、国の支援を要請したところです。

具体的な要望としましては、少子化対策事業の拡充、乳幼児医療費の助成、切れ目のない子育て支援体制の強化、子どもコミッションの設置などの4点となります。

なお、行政視察研修のより詳しい内容につきましては、別紙報告書を御一読いただければというふうに思います。

続きまして、閉会中の所管各課の事務調査について御報告申し上げます。

当委員会は、11月4日に町長及び教育長ほか所管各課の課長の出席を求め、委員全員出席の下、事務調査及び現地視察を行いました。

まず、住民生活課からは、第13回日出町人権フェスティバルについての説明がありました。人権週間に併せて、12月3日より様々なイベントや展示を実施するということでした。

続きまして、介護福祉課からは、価格高騰に対する支援事業の説明がありました。住民税非課税世帯及び低所得者世帯については5万円の給付、社会福祉施設へは電気代の助成を行うとのことでした。

また、子育て支援課からも価格高騰対策の事業説明があり、保育所等に電気代の助成を行う旨の報告がありました。

続きまして、健康増進課からは、新型コロナワクチンの接種状況についての報告があり、日出町での接種率は1回目が79.9%、2回目が79.6%、3回目が66.8%、4回目が34.2%、そして5回目が0.1%ということでした。

続いて、教育総務課からは、令和3年度の日出町教育委員会点検・評価報告書と、令和4年度の各種工事の進捗状況について、また学校教育課からは、人材育成の取組についての報告があり

ました。

次に、社会教育課からは、日出町新春健康マラソン大会について、令和2年度から延期していた第40回の記念大会を実施する旨の報告がありました。開催日は令和5年1月22日で、今回の大会は新型コロナウイルス感染症対策として、開会式及び表彰式、閉会式は実施しない形での開催となるということでした。

また、併せて、民間開発事業に係る埋蔵文化財本発掘調査業務についての報告もありました。

現在、日出町学校給食センター北隣に民間施設の建設が予定されており、試掘調査を実施したところ、遺跡が確認されたため、本発掘調査を含めた保存協議をしている状況です。本発掘調査となれば、別途調査報告書の刊行が必要となり、その費用およそ1,500万円程度になるということですが、これは開発事業者の負担であることを協定書で確認した後に、12月議会での補正予算に歳入歳出ともに計上し、承認後、令和5年1月から事業に着手する旨の報告がありました。

最後に、給食センターからは、児童生徒の保護者に対して実施した学校給食費に関するアンケート調査の集計結果についての報告がありました。

アンケートによれば、8割の保護者が給食の質を維持するために必要な値上げなら、やむを得ないと回答しており、今後の給食費の値上げを容認した意見が大半を占めていたとのことでした。

続きまして、閉会中の委員会と同日に行われました現地視察に関する御報告です。

今回は、GIGAスクールの進捗状況及びデジタル教科書の活用状況を確認するために、日出中学校と日出小学校にて現地視察を行いました。

中学校、小学校ともに英語のクラスの視察でしたが、児童生徒たちは一人一人に配布されたタブレットをちゅうちょすることなく駆使し、先生の質問に答えたり、タブレット上の問題に取り組んだりしていました。また、教える先生、ALT、学習支援員のスキルレベルも申し分なく、確実にICTが教育の現場を変えていることを確認することができました。

GIGAスクール構想は、国主導で多額の予算がつぎ込まれた事業でもあり、当委員会では、引き続きその成果に注視してまいりたいと思っていますところでは。

次に、住民との意見交換会について御報告いたします。

福祉文教常任委員会では、11月16日に保健福祉センターにて、町老連の役員と老人クラブを今後どう活性化していくかについて意見交換を行いました。

町内の老人クラブは、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を大きく受け、特にここ二、三年でその数を大きく減らしています。ここで町がしっかりと支援していかなければ、ますます町内の老人クラブが減っていくことは火を見るよりも明らかです。

そこで、老人クラブの活動を活性化させるために、どのような支援が必要なのか、忌憚のない

意見を求めました。

老人クラブ側からは、資源ごみの回収活動に際して、資源ごみを保管するコンテナのようなものを設置してほしい、また、かつては資源ごみの回収に際して毎月2千円の補助金が町から支給されていたが、行財政改革の名の下に廃止されてしまった、また資源ごみの回収活動は老人クラブの重要な財源となっているため、別の形でもいいので補助金を復活してほしいという要望もございました。

ほかにも、ここ10年間の老人クラブの数の推移及び減少理由などを確認した後に、各単老の会長から会員増加に関して取り組んでいることを伺い、みんなでそのアイデアをシェアいたしました。

老人クラブは、高齢者の皆様の生き生きとした暮らし、また町としても町の見守りなど欠かすことのできない存在と言っても過言ではありません。当委員会では意見交換会で出た意見を取りまとめ、今後、町長に対して老人クラブの活性化に真摯に取り組んでいただくよう、要望してまいりますというふうに思っております。

それでは最後に、閉会中の委員会で審査された委員会付託の議案の審査結果について、御報告申し上げます。

委員会で審査したのは、令和4年第2回定例会にて上程された陳情第1号別府市のムスリム協会の墓地計画に関する陳情です。

担当の住民生活課からは、9月議会後、事態に一向に進展がないという報告があり、委員全員で慎重に審査した結果、引き続き継続審査したい旨の発言があり、全会一致で継続審査としたところです。

以上、甚だ簡単ではございますが、福祉文教常任委員会からの報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会活性化特別委員会委員長 金元正生君。金元正生君。

○議会活性化特別委員長（金元 正生君） 議会活性化特別委員会は、11月24日に委員会を開催いたしましたので、その概要を報告いたします。

最初に、DX推進調査チームについて、閉会中に3回開催しております。

進捗状況についてであります。言うまでもなく、自治体DXとは違い、議会DXについてはマニュアルもございませんので、議会が何を発信すればよいか、町民のニーズ、また情報発信不足であるという共通認識の中、議会のアビリティも考慮しながら検討しているという状況であります。

次に、適正化推進調査チームについては、閉会中に2回開催しており、進捗状況については、総務省統計局の調査方法も参考に、議員定数、報酬について、次年度6月ぐらいをめどにアンケートを実施することが決定しております。

なお、アンケートについての素案までは進んでおりますので、これからの作業としては、素案のブラッシュアップであります。

アンケート方法については、基本、用紙での意見集約ではありますが、DXの進捗状況によっては、若干集約方法が追加される可能性もあるという状況であります。

議員出前講座の実施については、実施するという事で決定しておりますが、状況によってはプレゼン資料の準備等々も変わってくることから、現在小、中、高の学校のほうにそのニーズがあるのか、確認作業を行っているところであります。

最後に、意識改革、研修会については、議会基本条例、政策立案能力向上、コストリダクション等の提案がありましたので、可能なものから順次行っていく予定であります。

報告は以上でございます。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 阿部真二君。阿部真二君。

○議会報編集特別委員長（阿部 真二君） 議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、9月20日、28日の2日間にわたり、第3回定例会の内容を議会報第130号として、紙面の大幅な変更を伴う編集作業を行い、11月9日に各区長に配布を行いました。但し、請願書のページにおいて請願者の名前を間違えるという失態を起こしてしまい、直接謝罪に伺い、承諾を得ました。

具体的には、県内一周大分合同駅伝競走大会を継続開催するよう大分県の支援を求める請願書の請願者、速見郡陸上競技協会会長古野浩氏を吉野浩氏と掲載したことです。大変申し訳ありませんでした。

また、紙面の改革については読みやすくなった、分かりやすくなったなどうれしい反響も耳にしているところです。

今後、紙面については間違いのないように、しっかり確認するとともに、より読まれ、親しまれる議会だよりの発行に尽力したいと思います。

以上、甚だ簡単ではございますが、議会報編集特別委員会の御報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会運営委員会委員長 熊谷健作君。熊谷健作君。

○議会運営委員長（熊谷 健作君） 議会運営委員会からは、行政視察研修の報告をいたします。

期日は10月の17、18の両日でありまして、研修先は栃木県高根沢町、上三川町の2研修先であります。

まず、研修の目的は、議会のさらなる活性化、議会運営の円滑化、議案審議の多面的な考察の方法等を先進議会に学び、我々の議会に取り込んでいき、町民の方々の負託に応えられる議会にするためです。

次に、研修内容です。

高根沢町議会は、全国町村議長会より表彰を受けています。

主な活動としては、政策づくりのための集団として会派制を設置しています。また、タブレットの導入で情報の伝達を速やかにしています。カフェ・ド・議会と銘打った議会報告会を町内各所で開催しています。また、議会だよりの充実を目指し、写真やキャプションを多用し、多くの町民の声も載せています。意見書、要望書を会派から町執行部へ積極的に提出していて、最近ではコロナ禍における米価下落の対策を求める意見書を提出しています。

以上、地味な印象の議会ではありますが、地道に町民の関心を引く活動をこなしています。

次に、上三川町議会ですが、ここも全国表彰を受賞しています。

その主な内容は、議会活性化に向けた改革検討会を設置し、毎月開催しています。議員の自己都合、疾病等により、議員活動ができないときの報酬を定めた条例を制定しています。地方自治制度、議会制度等を研究する事務事業研究会を設置しております。全ての委員会、全員協議会を原則公開としています。中学生模擬議会を開催している等であります。全体的に町民の関心が薄れていく議会にあって、何とか存在価値を高めていく活動を行っています。

最後に、まとめとして、両町とも企業進出によりホンダ自動車、日産自動車の工場がそれぞれあり、財政的にはゆとりのある町です。その一方、新住民が増えたことで町議選の投票率も低く、議会への要望、関心も薄いようであります。それに呼応するように、両町とも、ここ数年の間に議員定数を削減しています。そして、この削減には特に異論は出なかったということでもあります。また、若い候補者のために歳費をアップしています。

我が議会も、改選後の活性化委員会の継続設置により、DXの推進と議員定数の見直しを掲げて研究していますが、今回の研修先に負けることのないよう、リーダーである委員長、議長の下、さらなる改革を目指していく必要があります。また、議員それぞれの質を上げるための勉強会の開催や研修も、もっと行っていくことが重要であると感じました。そういった意味で、意義のある研修でありました。

以上です。

質疑・討論・採決

○議長（工藤 健次君） 以上で、委員長報告を終わります。

これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） なければ、これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第 6. 議案第 4 5 号

日程第 7. 議案第 4 6 号

日程第 8. 議案第 4 7 号

日程第 9. 議案第 4 8 号

日程第 1 0. 議案第 4 9 号

日程第 1 1. 議案第 5 0 号

日程第 1 2. 議案第 5 1 号

日程第 1 3. 議案第 5 2 号

日程第 1 4. 議案第 5 3 号

日程第 1 5. 議案第 5 4 号

日程第 1 6. 議案第 5 5 号

日程第 1 7. 議案第 5 6 号

日程第 1 8. 報告第 8 号

提案理由の説明

○議長（工藤 健次君） 日程第 6、議案第 4 5 号令和 4 年度日出町一般会計補正予算（第 5 号）についてから、日程第 1 8、報告第 8 号和解及び損害賠償の額を定めることについてまでの議案 1 2 件、報告 1 件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、議案 1 2 件、報告 1 件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第 4 5 号令和 4 年度日出町一般会計補正予算（第 5 号）についてであります。

補正をいたします額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ 3 億 9, 6 2 0 万 7 千円を追加し、補正後の予算の総額を 1 2 8 億 8, 7 3 1 万 5 千円とするものであります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、総務費では、ふるさと寄附金事業における報償費等を計上しております。

民生費では、保育士等の処遇改善に係る経費や、制度改正に伴う自立支援システム改修費等を計上しております。

農林水産業費では、台風14号による流木等漂着物撤去委託料等を計上しております。

商工費では、令和6年春に福岡県、大分県両県で共同開催される国内最大級の観光キャンペーンであるJRデスティネーションキャンペーンに向けた観光プラン造成のための委託料や、おもてなしトイレ整備に係る経費等を計上しております。

教育費では、文化財保存調査委託料、学校給食センターの太陽光パネル設置に係る実施設計委託料等を計上しております。

災害復旧費では、台風14号による町道、河川、農地、農業用施設、漁港施設の災害復旧工事費等を計上しております。

また、諸支出金では、まちづくり基金積立金を計上しております。

歳入予算につきましては、ふるさと寄附金のほか、国県支出金、町債等を計上し、財政調整基金繰入金にて財源調整しております。

次に、議案第46号令和4年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、県支出金の過年度返還金を計上しております。

次に、議案第47号令和4年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、不足する保険給付費、地域支援事業費等を計上しております。

次に、議案第48号令和4年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、電気料金高騰に伴う動力費を計上しております。

次に、議案第49号令和4年度日出町下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、電気料金高騰に伴う処理場運転業務委託料を計上しております。

次に、議案第50号日出町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定についてであります。

職員の定年引上げを踏まえ、高年齢職員の働き方改革の多様化に資するため、条例を制定するものであります。

次に、議案第51号日出町太陽光発電設備等と地域環境との調和に関する条例の制定についてであります。

太陽光発電設備等の設置等をする際の基準を設けるとともに、住民との調整などの手続等を定めるものであります。

次に、議案第52号日出町職員の給与に関する条例等の一部改正についてであります。

令和4年人事院勧告及び大分県人事委員会勧告に基づき、県の給与改定等の事情を考慮して、職員等の給与等を改定するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第53号日出町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正についてであります。

コンビニエンスストア等において、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を可能にするため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第54号職員の定年等に関する条例等の一部改正についてであります。

地方公務員法等の一部改正に伴い、職員定年の引上げ等所要の改正を行うものであります。

次に、議案第55号日出町議会議員及び日出町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてであります。

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、公費負担額について、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第56号町道の認定についてであります。

鳴川団地線について、町道として認定するものであります。

最後に、報告第8号和解及び損害賠償の額を定めることについてであります。

道路上の瑕疵による事故に関し、損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分しましたので、同条第2項の規定により議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（工藤 健次君） 提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（工藤 健次君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午前11時10分散会
